

---

# ハッピーエンド

PussyCat

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ハッピーハンド

### 【NZコード】

NZ892C

### 【作者名】

Pussycat

### 【あらすじ】

一人の女の子がD・V、いじめ、摂食障害、恋、を通じて人生を生きぬき。成長する様。ノンフィクションに近い話。

## プロローグ（前書き）

ただ、読んでみてください。それだけで満足です。中傷はやめてください。あつつきやすい著者なものでので。

## プロローグ

あたしはいつもハッピー・ハンドに憧れてる。

でも、これは現実の話だから、まだまかンドロールにはまだ遠い。

悲しいかな、あたしのハッピー・ハンドはまだ遠い。

けど、あたしは生きてる。呼吸している。心臓はドクドクと波を打ち、血を流してくる。

まるで、生きぬくんだといわれているみたいだ。

あたしは前に前に進むだけ。

### 五歳の夏

大阪の中心都市からほどなこというこ、あたしの家は建っていた。蝉がうるさいこ猛暑の匂さがりにもかかわらず、五歳のあたしは母親の声にビクツキつて寒氣をもよつしていた。

「みつちやん、お皿いじ飯やから、お父さん起してえ・」

あたしは愛されたかつたから、恐怖を隠して笑顔でいつ答える。

「うん、わかつたあー。」

あたしは恐る恐る部屋の戸を開ける。そして、とびっきりの偽りの笑顔で、恐怖の物体を恐々搔きぶりながら、いつも語るのだった。

「お父さん、お母さんが」飯やゆづてゐから、起きてえー、なあなああつて

今日は機嫌がよかつたから、今日は大丈夫なはずだと震える手を押さえるために、自分にいい聞かせようとしていた矢先だった。

一瞬、ドスッと鈍い音を立てたかもと思つ矢先に、お腹に激痛が走る。それとともに怒鳴り声が耳に響く。しまった、起こしかたが悪かつたのだろうか。

「うるさいねん、なんやねん、殺すぞ。」

あいつは何度もお腹を蹴り倒す。

スイッチの入ったあいつはもうおしまいだ。

「「めんなさい、「めんなさい、許してください。お願ひです。」

お腹をかばいながら、何度も何度も、土下座する。

背中を蹴られながらも、土下座する。

「「めんなさい、殺さないでください。」

「俺おまえが嫌いやねん。なんでおんねん。うつとおしいの。」

五歳のあたしにこんなに殴られる理由はわからない。

ただ、このあたしの実の父親という肩書きの男は、確実に娘のあたしの存在を疎ましく思つている。

それだけは、五歳の頭で理解できた。

「もうええわ、チツ。」

あこつはそお言つて、おもちゃを解放したのだった。

その頃のあたしは信じていた、愛されることを、きっと生まれてきてよかつたと感じる時がいつかくるのだと。

母親の声がする。

「何してるん?」  
「飯やで。

「何もないよ、今いく。」

ここで、食べなきや、また殴られる。  
笑わな。笑わな。

食事をすると、なぜだか、心の隙間がうまつたような錯覚に陥った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3892c/>

---

ハッピーエンド

2010年10月9日00時07分発行